

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube
GOVERNOR'S
message



R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.3
2022.09

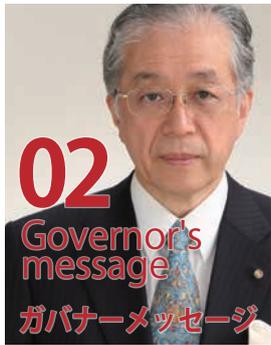
contents



アイコンをクリックでそのページにとびます。


イマジン
ロータリー
01

02
Governor's
message
ガバナーメッセージ



03
強化月間
委員長寄稿



04 ガバナー公式訪問

真岡 RC
足利 RC
下野上三川 RC
栃木南 RC
足利東 RC



05 主要行事予定

06 会員数報告

07
地区大会のご案内



08
コーディネーター NEWS
ハイライトよねやま

09 NEWS

10 新入会員・物故会員

11
Governor's
gallery
ガバナーギャラリー





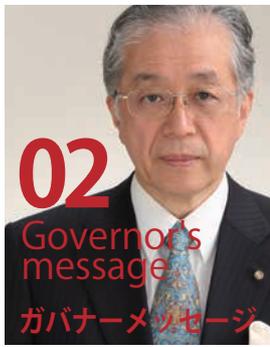
2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さぬきなおみち
佐貫直通

Governor's Message

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

対談：自由な発想でつむぐ機関誌 ～『ロータリーの友』を知る

Guest

すずきひろし
鈴木宏

第 2550 地区・2012-13 年度パストガバナー
「ロータリーの友」委員会・直前委員長（宇都宮北 RC）



佐貫ガバナー (G)：国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。

9月は、「基本的教育と識字率の向上月間」ですが、もうひとつ日本独自の「ロータリーの友月間」でもあります。そこで、ガバナーメッセージの特別編として、第 2550 地区・2012 年-13 年度のパストガバナーであります、「ロータリーの友」委員会の直前委員長としてご尽力いただきました、鈴木宏パストガバナーにお越しいただいております。

「ロータリーの友」をテーマに、いろいろとお話を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

それでは鈴木パストガバナーから、自己紹介と「ロータリーの友」に関わることになったきっかけについてお話しただきたいと思います。

鈴木パストガバナー (PG)：初めまして。鈴木宏です。私は、宇都宮北ロータリークラブに所属しております。当地区のガバナーは、2012 年-13 年度にやらせていただきました。今回「ロータリーの友月間」ということですが、昔は 4 月だったのです。月間というのは R I 理事会が定めているのですが、2015 年-16 年度の R I 理事会で月間の編成が変わって、雑誌月間がなくなったのです。その時、ロータリーの友委員会とロータリーの友事務所・理事会で、9 月を「ロータリーの友月間」として設定させていただきました。

ということで、今月は「ロータリーの友月間」ですので、よろしくお願いたします。

また、「ロータリーの友」に携わるようになったきっかけですが、委員長・代表理事は 2 年間の任期があります。それをガバナー経験者で、西から東からと交互に選ぶことになっています。

私の前任者は、愛知の片山主水さんという方が委員長でした。そのあとを受けて私になったわけですが、前年度委員長よりも若い年度のパストガバナーから選ぶ、選ぶに際しては規定があり、選定委員会を設けて選んでおります。たまたま私が選ばれましたが、誰でもガバナー経験者には機会があると思っております。

佐貫 G：2 年間委員長をなさって、変革や取り組まなければならないことなど、さまざまなことがあったと思いますが、いかがでしたか？

鈴木 PG：私が 2 年前、委員長に就任した時、最初に手掛けたことは、まずは「ロータリーの友」の事務所内、代表委員を含めた委員会、その中で一番大事なことは「**心理的安全性**」だと思っ

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。



て取り組んだことです。いろんな意見・いろんなアイデアをつぶさずに、自由に言える環境は、いろんなアイデア・いろんな企画が生まれてくる土壌になったのかなとこの2年間で思います。というのは、ひとつは連載物を初めて掲載できたことです。

1年目は服の話(『大人の着こなし図鑑』／2020年7月～2021年6月連載)、2年目はカメラの話(『すずちゃんのJust say cheese!』／2021年7月～2022年6月連載)…これは私の趣味に合わせて選んでもらったのですが、写真の撮り方の連載です。それからコミックを入れたのは、「ロータリーの友」の70年の歴史の中で初めてだったんですね。特に、1年目のポール・ハリスの話(『ポール・ハリスとロータリー』／2020年7月～2021年6月連載)は初期ロータリーの話ですが、これは若い会員にも勉強になったのではないかと考えております。

そして、それを動画で提供したことによって、ロータリーのいろいろな集まりで使ってもらえるようになりました。ちょうど1時間の動画なのですが、読むだけではなく目で見てゆっくり話を聞きながら理解できる。面白い取り組みだったと思います。



いろんな意見・いろんなアイデアをつぶさずに、自由に言える環境は いろんなアイデア・いろんな企画が生まれてくる土壌になった

2年目は、ガイ・ガンディカー (Guy Gundaker、1873～1960／アメリカ・フィラデルフィア・ロータリークラブの創立会員で、史上初のロータリーの解説書『A Talking knowledge of Rotary』の著者)に関する『ガイ散策』(2021年7月～2022年6月連載)というコラムです。山形県・寒河江ロータリークラブのPast Governorである鈴木一作さんに書いていただきました。古い人を載せてどうだろう、今の若い人にはガイ・ガンディカーといってもわからないのではないかという方もたくさんいましたが、基本の「キ」の字に戻るためには、まずはこれを連載して、多くの人に読んでもらいたい、という思いで載せることができました。

そして、アンケートを行うことで、いろいろな会員からのアンケート結果を皆様に公表できたことも大きいかと思います。

あとは、規定審議会に関して、最近ですが、あれだけの特集を組んだのは「ロータリーの友」史上初めてでしたが、規定審議会といういわゆる地区役員の方やガバナー・ガバナー補佐の方だけではなく、全会員が知るべき案件かと思えます。特に、クラブ定款に関する変更があるので、どのように変わるか理解していただきたいし、ぜひ地区内・クラブ内から「この定款はおかしいのではないか」というような案件を出していただければ、規定審議会で揉んでもらえる機会になるのではないかと。なるべくみなさんの身近なことになるように、との思いで企画できたことがよかったと思っています。

表紙ですが、2年間このようなイラストにしました。これは、私の山形での幼稚園・小学校・中学校の同級生、五十嵐仁之という売れっ子のイラストレーターなのですが、彼の作品を見て、ぜひ手に持って歩けるロータリーの雑誌に

したい、どこにでも持っていける、家に持っていけば奥様が手に取って見たくなるような雑誌にしたいということで、表紙を変えてみました。
また、皆さんも表紙を見ておわかりのように、表題が「ロータリーの友」だったのを「Rotary」の文字を大きくして、これはロータリーの雑誌なのだと変えたこともよかったかと思っております。もっとあるかもしれませんが、そのようなことがチャレンジしたことです。

佐貫 G:ありがとうございます。ロータリーでは「**変革**」が謳われています。特に女性がRI会長になられて、「**DEI**」を継続的に展開していくことが、変革には必要な考え方的一端であるという話をいただいております。「ロータリーの友」も変革をしてきて、これまでのロータリアンにも若いロータリアンにも見ていただける月刊誌になってきたと感じます。

先ほどのアンケートのお話ですが、ある程度の数（のデータ）があるので、エビデンス（科学的立証）による確かな方向づけを我々も感じることができ、非常に大切なアンケートだったかと思えます。女性会員に関するアンケート（2022年8月号）もありましたが、それを読むとこれからのロータリーとして歩まなければならないひとつの方向性が出てきていると感じます。

「ロータリーの友」が、我々ロータリアンのみなさんが同じ情報を得られる、**情報共有化**の一端として大きな働きをしていると思います。「ロータリーの友」を読むことで、ロータリー活動が楽しく活発になる、理解できるようになると感じています。

委員長は退かれましたが、これからもご意見や方向付けをいただきたいと思えます。

鈴木 PG:ありがとうございます。アンケートも非常に良い記事なのですが、それを作る編集部の人手が足りません。「ロータリーの友」は、1か月200円だったのですが、それでは新たな職員も呼ぶことができない。いろいろなことができずにいたのですが、私の年度で47年ぶりに値上げをさせていただきました。それによって、**職員を増やす**ことができ、**職場の環境**もよくなるのではないかと思います。50円値上げしたことによって初めて、創刊号から今までの**アーカイブ**を電子ブックで見られるようになったという点も、経験豊かな会員も昔を振り返ることができるし、若い会員も創刊の頃の会員がどんなことを考えていたのか見ることができます。

（記事の）検索も可能で、例えば「職業奉仕」で検索するとそれに関する記事が読めたり、佐貫さんの名前を入れれば佐貫さんに関する記事が出たり、ということが出来ます。

非常に良いアーカイブだと思うので、ぜひご利用いただければと思います。

ただ、各クラブに請求書と一緒にIDとパスワードを送っているのですが、知らない会員がほとんどです。

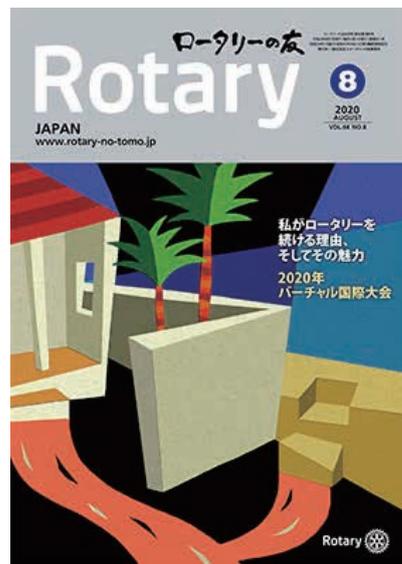
今日、職業奉仕セミナーがあったのですが、会場で聞いたら知らない人がほとんどでした。

やはり、もう少し徹底しなければと思いつつ、これはぜひガバナーにお願いしたいのですが、各クラブをまわられた際に、アーカイブがあることと、IDとパスワードは幹事が持っているので各会員に伝わるようにしていただきたいことを伝えてください。

アーカイブでは、アクセス数が全部わかります。どのクラブがどのくらい見ているか、私にも情報が入りますので、ぜひ2550地区はたくさんアクセス数がある、となっていただければうれしいなと思っております。

このように、iPadでも見られます。最初のころは同じ表紙が何か月も続くんですね、創刊号から半年くらい。読み応えがありますので、ぜひ見てください。よろしく願います。楽しいですよ、きっと。

佐貫 G:ありがとうございます。ロータリーの歴史が見られるということで、時間があるときに見ていただけるとロータリーに対する考え方や興味、楽しさもあるかと思えますので、ぜひご覧になってください。



表紙：五十嵐仁之氏

鈴木 PG: 学ぶというよりも、投稿してくれる記事には**ロータリアンの心**が入っていると思うのです、写真一枚にしても。その心を感じるような読み方をしていただければと思います。
ロータリーは勉強、勉強というよりも、「**エンジョイ・ロータリー**」ですから。よろしくお願いします。



佐貫 G: 宇都宮陽東ロータリークラブは、創立 25 周年の時に国際奉仕活動をしました。その内容を「ロータリーの友」1 ページに掲載していただきました (2018 年 6 月号)。鈴木パストガバナーのご意見をいただきながら、しっかり書くことができました。25 周年事業の一端でしたが、やった甲斐があった！と感じる一点です。また、宇都宮北ロータリークラブにおいても、同じ『ロータリー・アット・ワーク』のコーナーに掲載されたのですよね (2020 年 2 月号)。

鈴木 PG: これは夕張の子ども食堂なのですが、夕張はとてもたいへんな街で、市の財政も無いということで子ども食堂が非常にひっ迫しており、当地区からお手伝いにあがった次第です。そういうことも記事になりますので、ぜひ『ロータリー・アット・ワーク』への投稿をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

佐貫 G: 投稿した後、私のところに同業者の歯科医の方からお手紙をいただきました。この活動に関して、続けてほしいと励ましのお手紙でした。「ロータリーの友」の幅の広い購読者、日本全国の大きさを感じました。「ロータリーの友」に掲載されたお互いの活動を見て、励ましあったり意見をいただいたりして前に進めると感じました。

佐貫 G: 「ロータリー日本 100 年史」も、ロータリーの友委員会でお作りになったと伺っています。お話をお願いします。

鈴木 PG: 私の年度の 1 年目で出版予定だったのですが、「ロータリー日本 100 年史」が 2 年目で完成しました。コロナでなかなか編集が進まなかったのですが、各クラブに 1 部ずつ贈らせていただきました。また、日本全国の会員にも公募をしましたが、栃木県は愛知県の次に購読者が多かったです。これも皆様のおかげです。驚くことに、8 人に 1 人が買っていただいたことになります。6600 円で、4 キロの重さです。なかなかの重さですが、ぜひご利用いただければと思います。また、DVD 版もありますので、そちらで見ることも可能です。皆様にご理解いただいて感謝申し上げます。ありがとうございます。(皆さまのおかげで、「ロータリー日本 100 年史」は 2022 年 2 月 8 日をもって完売しました)

今日は、「ロータリーの友」に関して貴重なお時間をいただきありがとうございます。つたない話でしたが、ぜひ「ロータリーの友」を読んでいただければうれしいです。佐貫ガバナー、今日はありがとうございました。

佐貫 G: ガバナー訪問がスタートし、各クラブに伺っております。今日、鈴木さんからお話を伺ったことをパワーポイントの資料に入れながら、皆様にもご紹介できるように持っていきたいと思います。「ロータリーの友」の重要性、情報の共有化、また「DEI」についてのお話もあわせてできるかと思えます。このような機会をありがとうございました。このガバナー月信でも続けて発信していきたいと思えます。ありがとうございました。

「ロータリーの友」ホームページ
<https://www.rotary-no-tomo.jp>



「ロータリーの友」公式 Facebook
<https://www.facebook.com/TomoRotary/>





ロータリーの友月間に因んで

『ロータリーの友はロータリーの歴史』

あまかわちから

天川 主税

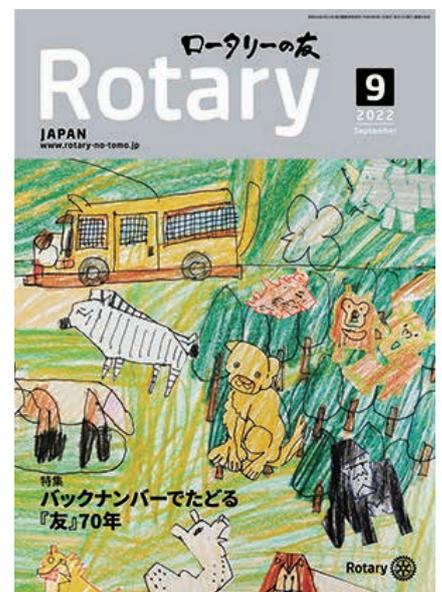
ロータリーの友 地区代表委員 (宇都宮陽東RC)

アメリカのRI本部で機関雑誌「ROTARY」に加え、RIに認可された地域雑誌を「機関雑誌」として定義されます。これらの雑誌は全世界に30以上あり、日本におけるロータリーの機関雑誌『ロータリーの友』もその一部で、創刊は1953年1月号です。

雑誌名称は日本独自の名称であり、岐阜ロータリークラブ遠藤健三氏の世話で岐阜・長良川湖畔の大竹旅館にて行われた、1952年7月第2回準備会において遠藤健三氏提案の『ロータリーの友』が投票によって決定しました。名称は月刊誌『主婦の友』からヒントを得たと述べています。雑誌の定価は当初100円で、1963年1月号から1974年12月号まで110円、翌年からは2022年6月号まで200円と改訂をせずにきましたが、2022年7月号より275円(税込)に改訂されました。

『ロータリーの友』は基本的にロータリアンの為の機関・情報誌です。国内の地区・ロータリークラブや、会員の活動状況を紹介し親睦を図ることや、RIの方針や全世界のロータリアンならびにロータリークラブの活動を国内の会員に紹介し海外のロータリー活動に興味を高めロータリー精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与することを目的としています。横組みのページには、RIの指定記事、ロータリーの特別月間の関連記事、特集などを掲載し、縦組みのページには地区やクラブの活動、ロータリアン個人としての意見や経験談、職業上の知識などを掲載しています。会員歴が浅い方やロータリアン以外の方が読んでも、ロータリーの理念や活動が分かるようになっていきます。

2013年規定審議では、会員は印刷媒体か電子媒体を選択して購読できるようになりました。日本では、2014年1月号から電子版を発行し、2022年7月号、今年から選択して購読できるようになりました。未だコロナ禍の中、各クラブに於きましては活動も難しい状況とは思いますが、是非、『ロータリーの友』への理解を深めて頂き、読書率の向上と活用促進、また投稿掲載へのご協力をよろしくお願いいたします。



『ロータリーの友』サイト

<https://rotary-no-tomo.jp>





2022.07.21

Governor's
Official Visit

真岡ロータリークラブ

会長 市村 忠男
幹事 見目 良一

7月21日(木)午前11時、例会場をフォーシーズン静風に変更して、第2550地区ガバナー佐貫直通様、第4Gガバナー補佐廣瀬紀夫様、随行で来訪いただきました宇都宮陽東RC地区幹事橋本正行様、高柳代造様をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。コロナ感染対策として例会場を広い会場に変更して準備していましたが、約一週間前から県内においてコロナ感染者が増え始め、公式訪問の延期、短縮しての開催を要請するか判断に迷いましたが、理事会に4案を提示して意見を求めたところ、会長・幹事懇談会と例会を行う案で決まりましたので、廣瀬ガバナー補佐からその旨を伝えていただき、開催する運びとなりました。オープンディスカッションは、コロナ感染のリスクが高いため中止することを理解いただきました。

<会長・幹事懇談会>

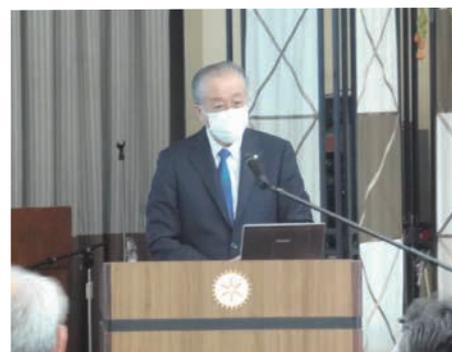
ガバナーと会長・幹事懇談会は、当クラブから会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクト及び青木増強委員長の5名が出席して、9名で行いました。事前のガバナー補佐例会で聴取された内容に沿って、ガバナーから説明や質問を受け、当クラブの意見を述べ、双方向で行われました。RIの推奨する「D(多様性)E(公平さ)I(インクルージョン)」について、性別・人種・宗教・信条等違いのある会員がいないため意識がない旨伝えさせていただきました。今後の課題とします。会長幹事両エレクト、増強委員長からの発言、質問に対しても懇切丁寧なご指導をいただき有意義な懇談会となりました。

<公式訪問例会>

例会は、通常通り行いました。この日は、今年度地区補助金をいただいて英国に留学する小林未来さんにも来ていただき、ガバナー並びに当クラブ会員に渡航前に紹介出来て安心出来ました。

ガバナーアドレスは、RI会長の方針、ガバナーの地区方針・目標についてパワーポイントで作成した資料を基に卓話をいただきました。RIの推奨する「D(多様性)E(公平さ)I(インクルージョン)」を認識していないため、理解の難しさを強く感じました。又、当クラブからガバナーに要望した三点についても丁寧な説明をいただきました。

- ・ロータリーの変革について
 - ・ロータリーの低い認知度の現状とその改善、広報活動の進むべき方向性について
 - ・ロータリー内でハラスメントが横行しているのか、その現状について
- ロータリー活動は、社会全体を視ながらクラブが変化していくことが必要という発言が印象に残りました。



<深謝>

年度当初にガバナー公式訪問を開催する事の大変さばかりが頭に浮かんで、準備が間に合うか不安でした。年度当初のガバナーの来訪は、昨年度、石田ガバナー、地区幹事、地区会計長、「友」代表委員、地区大会実行委員、公式訪問に随行した会員、「月信」発行に携わった会員等当クラブ会員が一年間頑張った「ご褒美」として、当クラブ会員に最初のガバナーアドレスを聞く「栄誉を授ける」ためと理解させていただきました。

佐貫ガバナーには、コロナ感染者の急増にもかかわらず来訪いただき、会員一同感謝申し上げます。残り47クラブの公式訪問とその後の地区大会を控えておりますので、体調には十分留意され、無事終了することをご祈念申し上げます。



2022.07.22

Governor's
official visit

足利ロータリークラブ

会長 谷津 範之
幹事 亀井 孝哲

足利ロータリークラブは第3573回例会で佐貫直通ガバナーの公式訪問を受けました。

当日は佐貫ガバナー、宇都宮陽東 RC の竹田真臣会員、鈴木洋平会員、石井敏夫第8グループガバナー補佐が来訪者として紹介され、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立つ会長、幹事懇談会では、クラブ会長事前報告・質問事項を基に、新型コロナの影響下でのクラブ



の活動や会員増強などについて話し合いがもたれました。その中で、佐貫ガバナーからオンライン例会、ガバナー月信のオンライン配信等の実例を踏まえたデジタル化の重要性、その一方で対面での奉仕、親睦活動も重要であること、また、当クラブでも初の女性会員を迎える中、ハラスメント対策を会員間で共有することなど、様々なご指導をいただきました。

例会では、バナー交換のあと、佐貫ガバナーの記念卓話へ。記念卓話では、ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長の講演ビデオをはじめ、ロータリー活動に役立つ様々な映像資料を流しながら、今年度の RI や地区の方針や目標について大変興味深いお話を頂戴しました。また、佐貫ガバナーは5月に行われた当クラブ創立70周年記念式典

の際に作られた記念ソングに大変ご興味を持たれ、作曲の経緯のご説明とともに当クラブの谷津会長が素晴らしい歌声を披露し（マスクをしたままではありましたが）、大いに盛り上がりました。

充実した時間を過ごす中、撮影予定時間が来てしまい、卓話を中断していただき集合写真の撮影へ。新型コロナへの配慮から、シャッターの瞬間だけマスクを外し、数年ぶりに笑顔あふれる記念写真を撮ることができました。

一連の公式訪問を通じて、当クラブにおいては伝統を守りながら、新しい流れを取り入れ地域に貢献することの重要性を感じました。佐貫ガバナーには、ご多忙の中、熱心に当クラブのご指導をしていただき、改めて謝意を表する次第であります。



Governor's
Official Visit

下野上三川ロータリークラブ

会長 沼生 隆
幹事 塩澤 弘崇

下野上三川ロータリークラブは、現在会員 19 名（女性会員 3 名）となります。また、2022 年 6 月 23 日付にて、2006 年 8 月より約 16 年間使用して参りました、しもつけロータリークラブより更なる会の発展を見据えまして名称変更致しました。会員数は少ないですが、その分会員同士の連携が密になり、フットワーク軽く活動が出来ているのではないかと考えております。

さて、7 月 27 日（水曜日）石橋商工会館 2 階を会場に、佐貫直通ガバナー公式訪問を開催致しました。本来であれば会員全員にてお迎え致しましての公式訪問となれば良かったのですが、昨今の新型コロナウイルス感染症感染状況再拡大の影響を受けまして、やむを得ず佐貫直通ガバナー、沼生会長、塩澤幹事 3 名のみとなりました。なんとか通常開催出来ないかと模索致しましたが、会員各々の社会的立場上、万が一にも感染者を出してはいけない（たとえ公式訪問によつての感染でなくても社会の目はそう見てくれない）為、佐貫直通ガバナーにおかれましては縮小開催連絡がギリギリになってしまい大変ご迷惑をお掛け致しました。

限られた時間、人数では御座いしましたが、佐貫直通ガバナーより、RI の方針は実行すると共に、クラブ単位で自信を持って活動してほしい旨、当会の状況に合った活動並びに会員増強アドバイス等、濃密な時間を過ごすことが出来ました。頂戴致しましたお言葉を会員同士で共有し、更なる会の発展へと繋げさせていただきます。

改めまして、佐貫直通ガバナーにおかれましては、大変な状況下の中、また、日中の暑い中貴重なお時間を削りご来訪頂き、誠に有難うございました。

2022.07.28



Governor's
Official Visit

栃木南ロータリークラブ

会長 佐山 華奈子
幹事 関口 國夫

2022年7月28日(木) サンプラザにおいて、第2550地区ガバナー佐貫直通様、熊本範章随員様をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

コロナウィルス感染拡大の中、会長幹事懇談会、ガバナー公式訪問写真撮影を計画し、午後6時から会長幹事懇談会を開催、ガバナー補佐、会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクト、会員増強委員長の5名が出席し、R1会長テーマであるDEIの理解醸成と行動、会員増強、特に会員の30%の女性会員の目標達成など活発な意見交換が行われました。

幸い、計画された行事は順調に進み、かつ、時間的余裕が生じた中、例会場での卓話、バナー交換、新入会員へのバッジ授与、最後に写真撮影に臨まれ、午後6時30分頃、サンプラザを後にされました。また、ガバナー公式訪問中のご発言にはロータリアンとしての矜持を強く感じました。

<我クラブの奉仕事業>

*地区補助金を活用した地域貢献活動

栃木市第二公園内「こども見守りカメラ」の寄贈に続き、昨年度は栃木市大平運動公園内に「防犯カメラ」を寄贈、結果、5箇所の設置を行い、本年度は永野川緑地公園内の設置を予定しています。

*生活支援事業

経済的要支援者に、2か月に一度、カップ麺などお届けしています(栃木市社協経由)。奉仕委員会を中心とする活動ですが、所属委員以外の会員も買い物などに取り組み、支援体制が出来ています。



2022.08.02



Governor's
official visit

足利東ロータリークラブ

会長 地齋 和雄
幹事 提箸 照之

8月2日(火)ニューミヤコホテル足利本館に於いて、第2550地区ガバナー佐貫直通様、第8グループガバナー補佐石井敏夫様、地区幹事橋本正行様をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

11時からの会長・幹事懇談会では、当クラブから会長、幹事、荻野会員組織・増強委員長が出席し、石井ガバナー補佐の進行により約1時間ほどをかけ行いました。懇談会では、会長よりRI会長ジェニファーE・ジョーンズ氏の『DEI』について、クラブでの理解や行動をどのように実施出来るか、また佐貫ガバナーのメッセージや目標をどのように実践出来るかを会長より説明を致しました。当クラブの特徴は、海外での奉仕活動を継続していることです。担当する国際奉仕委員長は男性女性、年齢にかかわらず毎年変わります。過去、多数の一年青少年交換学生や米山奨学会奨学生を受け入れました。また、フィリピンへの医療無料奉仕活動は、WCSとして当クラブの中谷研一会員が1992年から約30年間フィリピンに赴き、インターアクト・ローターアクトと共に奉仕活動を継続しています。佐貫ガバナーより、当クラブが作成した、フィリピンでの奉仕活動をまとめたビデオ映像をもっと多くのロータリークラブで活用出来ないかとの有難いお話を頂きました。

引き続き例会にご参加頂き、新型コロナウイルス感染拡大により、オープンディスカッションを設けず、ガバナー卓話をパワーポイントにてわかりやすく、会員にとってロータリークラブが心地よい場所であるように実践していく心構えをお話し頂き感謝しております。限られた時間の中で、多くの気付きと行動力を頂戴しました。有り難うございました。ロータリー弥栄。

〈クラブ紹介〉

- ※海外での奉仕活動を約30年間継続している。特にフィリピンでの奉仕活動は足利東ロータリーとしてRACとIACと共に活動。
- ※青少年奉仕としてインターアクト2校・ローターアクトをホストし、また海外との青少年交換学生、米山記念奨学生の受け入れ。
- ※地区補助金にて、コロナ対策として知的障害者更生施設の「こころみ学園」にアルコール消毒液の寄贈。JR両毛線足利駅のバス停用ベンチの寄贈。グローバル補助金にて、フィリピンの図書館に本を900冊寄贈、足利市の給水車をタイ王国へ寄贈など様々な奉仕活動を実施。
- ※ホームページを新調し、SNSを活用した広報活動を実施。



ROTARY INTERNATIONAL
District 2550
Ashikaga East Rotary Club
<https://ashikagaeast-rc.com/>
2022-2023 クラブテーマ 「ロータリーを楽しもう」



22-23年度 地区内主要行事

2022年

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
10	2	日	23-24ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
10	29	土	RI定款細則、標準ロータリークラブ定款等に関するセミナー	ホテルニューイタヤ	
11	6	日	米山記念奨学会カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
11	12~13	土~日	RYLAセミナー	コンセーレ宇都宮	地区RYLA委員会
11	13	日	馬頭小川ロータリークラブ創立50周年記念式典		馬頭小川RC
11	26	土	米山記念奨学会面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮	地区米山記念奨学会委員会
12	9	金	地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ	ホスト:宇都宮陽東RC
12	10	土	2022-23 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ベルヴィ宇都宮	〃
12	11	日	2022-23地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮 (宇都宮駅東)	〃
12	11	日	青少年交換オリエンテーション・クリスマスパーティー	ベルヴィ宇都宮	〃
12	18	日	2023学年度米山記念奨学生面接選考試験	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	25	日	22-23第2回諮問委員会 ガバナーエレクト壮行会	宇都宮市内	ガバナー事務所

2023年

2	4	土	第9グループIM		第9グループ
2	5	日	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	9	木	第3グループAB IM		第3グループAB
2	12	日	青少年交換オリエンテーション日本文化体験	宇都宮 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	18	土	23-24地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	佐野RC・ガバナー事務所
2	18	土	第8グループIM	ニューミヤコホテル	第8グループ
2	26	日	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
3	5	日	第4グループIM	フォーシーズン静風	第4グループ
3	19	日	23-24会長エレクト研修セミナー(PETS)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	19	日	23-24幹事エレクト研修セミナー(SETS)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
4	9	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
4	16	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト:田沼RC
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

国際ロータリー第 2550 地区 7 月会員数報告

	クラブ名	例回数	会 員 数							40歳未 満	
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減		内女性会員
第1グループ	大田原	3	24	24	0	0	0	0	0	1	0
	黒磯	3	33	35	2	0	2	0	2	3	1
	西那須野	3	47	48	1	0	1	0	1	3	0
	黒羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0
第2グループ	大田原中央	2	24	24	0	0	0	0	0	1	0
	鳥山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	氏家	3	23	23	0	0	0	0	0	2	0
	矢板	4	10	10	0	0	0	0	0	1	0
	馬頭小川	4	21	21	0	0	0	0	0	0	0
第3グループA	高根沢	4	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	宇都宮	4	105	105	0	0	0	0	0	2	1
	宇都宮西	4	68	68	0	0	0	0	0	0	2
	宇都宮北	3	41	43	2	0	2	0	2	0	1
	宇都宮90	2	45	45	0	0	0	0	0	5	3
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
	宇都宮陽北	4	46	47	1	0	1	0	1	9	9
第3グループB	宇都宮東	4	113	113	0	0	0	0	0	0	4
	宇都宮南	4	57	56	0	1	0	1	-1	7	1
	宇都宮陽東	4	49	49	0	0	0	0	0	9	1
	宇都宮陽南	3	23	24	1	0	1	0	1	7	4
第4グループ	宇都宮さつき	3	26	26	0	0	0	0	0	4	2
	真岡	3	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	益子	4	31	31	0	0	0	0	0	2	0
	真岡西	3	39	39	0	0	0	0	0	5	0
第5グループ	下野上三川	5	19	19	0	0	0	0	0	3	1
	小山山	3	22	21	0	1	0	1	-1	1	0
	小山南	5	14	15	1	0	1	0	1	2	0
	小山東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	23	23	0	0	0	0	0	0	4
第6グループ	小山中央	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0
	栃木	4	47	47	0	0	0	0	0	4	0
	栃木西	4	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩舟	3	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	壬生	3	17	19	2	0	2	0	2	1	0
第7グループ	栃木南	4	40	40	0	0	0	0	0	9	1
	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿沼	4	59	65	6	0	6	0	6	2	2
	今市	3	41	44	3	0	3	0	3	1	1
	鹿沼東	4	37	37	0	0	0	0	0	5	0
第8グループ	鹿沼中央	3	17	17	0	0	0	0	0	2	0
	今市きぬ	2	27	29	2	0	2	0	2	0	0
	足利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	1
	足利東	3	30	32	2	0	2	0	2	2	0
第9グループ	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足利わたらせ	3	35	35	0	0	0	0	0	0	0
	佐野	3	55	55	0	0	0	0	0	0	0
	葛生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0
	田沼	2	44	45	1	0	1	0	1	0	0
48RC	佐野東	3	21	22	1	0	1	0	1	2	0
			1648	1671	25	2	25	2	23	109	41

ローターアクトクラブ 会員数報告 (2022.5.17 現在)

	クラブ名	会員数
R	宇都宮東	12
A	作新学院大学	22
C	蔵の街とちぎ	6
	3RAC	40

地区大会開催のご案内

ホストクラブ：宇都宮陽東ロータリークラブ



2022.12.09

@宇都宮カンツリークラブ

2022年12月9日（金）
地区大会記念ゴルフ大会



2022.12.10

@ベルヴィ宇都宮

2022年12月10日（土）
会長・幹事会 指導者育成セミナー
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



2022.12.11

@ライトキューブ宇都宮

2022年12月11日（日）
地区大会 本会議

information:01



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 福井 敬悟 (札幌手稲)

ポール・ハリス語録から「ロータリーの原動力は友情です」「ロータリーは友情の扉です。みんなのために扉を開け放ちましょう」

親睦と奉仕はロータリーの基本ですが、全てのロータリアンが世界中あらゆる分野で Fellowship を拡大することが、世界の平和の礎を築くことに貢献します。

今月はロータリー親睦活動月間ではありませんがクラブの枠を超えた活動を3つご紹介します。

1つ目は若くてパワフルな力、ローターアクトの活動です。2022年9月3日～4日 北海道赤平市にて、「D2580・東京ワセダ RAC」「D2680・豊岡 RAC」「D2510・赤平 RAC」の3つのローターアクトクラブが合同例会を企画しました。内容は「みつばちホテル製作」等、みつばち保護を中心とした、自然環境保護への活動です。

まさに DEI を大切にしたい、国際奉仕 PJ です。日本での「みつばち」への取組は 2680 地区が力を入れており、第 34 回全国 RAC 研修会でも発表されました。今回の例会講師は、D2680RAC の阪本渚子さん、木本千春さんです。このように地区やエリアを超えて共に活動することも、Imagination が更に豊かになり、Realization が実ると体験できます。(D2510 赤平 RAC 長谷川大介記)

2つ目は世界のロータリアンのスキー愛好家が集う ISFR (International Skiing Fellowship of Rotarians) です。

1974 年に創立され、今や会員数は 500 名を超える世界組織。この度、日本で初めて支部を設立し、スキー大会を日本に誘致することが決まりました。世界中のロータリアンとスキーを楽しみ、パーティーやイベントを通じて親交を深める、そんな一週間が日本で実現します。今シーズン、D2510・倶知安 RC の協力を得て、ニセコで開催予定です。

たまたま知り合ったアリソンさん (米 Ames RC) が ISFR の会長だと知り、日本で開催しようと意気投合、幾多の調整を重ねてここまでやってきました。世界のロータリーを体験できる取り組みの一つとして、皆様にご参加頂けることを楽しみにしています。詳細は近日中に公表予定です。(ISFR 日本支部支部長・日本誘致責任者 吉田弘和 東京麹町 RC 記)

3つ目は世界のバイク愛好家が集まる International Fellowship of Motorcycling Rotarians(IFMR) です。

2021 年 8 月 1 日 IFMR に登録し、日本支部を北海道に設立。Facebook に例会案内、活動をアップして広報活動をしています。北海道はバイクに乗れる期間は半年程ですが、春夏秋、自然に恵まれた広大な大地をダイナミックに駆け巡る事ができるライダーにとって憧れの快走ツーリングスポットです。昨年は新型コロナウイルスの蔓延で 1 回の例会でシーズンを終えましたが、2022 年は会員も 60 名程となり地区を超えた合同例会を開催して親睦を深めています。8 月には D2720 大分キャピタル OliOli ロータリー衛星クラブメンバーが来道し合同のツーリングが行われます。今後は、北海道のみならず全国各地での例会を行うなどロータリアンライダーのプラットフォームになるよう活動します。(D2500 PDG 松田英郎記)

ロータリーは例会を通して、お互いに切磋琢磨し、自己研鑽することでロータリーの説く本来の親睦が一層深まることが重要ですが、ロータリーの活動はクラブの枠を超えた友情に基づく世界的なネットワークの中で育まれる奉仕活動、親睦活動に目を向けて頂ければと思います。



3 地域合同「公共イメージ向上オンラインセミナー」報告



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生 (柏 RC)

2022年7月30日 Zoomにて3地域合同による「公共イメージ向上セミナー」が開催されました。各地区ガバナーや公共イメージ向上委員長始め、地域コーディネーターと同補佐、日本事務局を含む総勢約150名の参加を頂きました。

冒頭、佐藤芳郎 RI 理事から「全地区・全クラブがポリオデーに趣向を凝らしたイベントを開催してロータリーのブランドイメージの向上を目指し、再び日本単独で3つのゾーンを復活させよう」とのご挨拶を賜りました。次いで、R2 服部陽子 RPIC から「公共イメージの重要性」・R1 井原実 RPIC から「ロータリーブランドとロゴの重要性」・R3 丸尾研一 RPIC からストーリーテリング「私とロータリー」と題する講話を頂きました。続いて「世界ポリオデーに向けての取組」と題して具体的な事例の発表が行われ、R2 桑澤一郎 ARPIC から「世界ポリオデーのポータルサイト」・R3 深尾兼好 ARPIC から「ポリオ根絶フォトコンテスト」に関する説明を頂きました。

更に各地区で企画されている事例として、2720 地区堀川貴史ガバナーから「熊本マチナカ音楽祭」・2750 地区田嶋諒一実行委員長から「END POLIO Bicycle Campaign 2022」・宮崎陽市郎ガバナーエレクトおよび R2 神野正博 ARPIC から「END POLIO Cycling Challenge 2750」・2770 地区橋本和久実行委員長から「第2回ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー」・2600 地区片貝雅彦実行委員長から「信州ブレイブウォリアーズ戦応援とポリオ根絶」についての紹介を頂きました。

質疑応答の時間では、2760 地区伊藤靖祐 R2 ARRFC からポリオデーに行う事業の目的についての問いかけがあり、それに対して佐藤芳郎 RI 理事・三木明 TRF 管理委員から「公共イメージの向上と共にファンドレイジングである」とする旨のご示唆を頂きました。

セミナーの最後に三木明 TRF 管理委員から講評を賜り、充実したセミナーを実施した主催者に対する謝辞と共に、「改めてロータリーには具体的な行動が求められている事を実感した」とのお言葉を頂きました。

参加者からは、公共イメージの向上の必要性に対する理解が進み、ポリオデーの企画立案に関する有益なヒントを得られたなどの感想が寄せられ、充実したセミナーを実施できたものと思われま

第3地域 RRFC の抱負



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 永田 壮一（熊本城東 RC）

今年7月から2年目の第3地域 RRFC を迎えました。1年目の RRFC 就任前にズームによる RLGI (Regional Leaders Global Institute) を受講し、地域リーダーの役目を履修し、3名の ARRFC を任命させていただきました。

ロータリー財団地域コーディネーターはロータリアンが財団補助金による奉仕に積極的に参加し、寄付目標を達成できるように支援し、ロータリーの最優先事項であるポリオプラスに対しポリオ根絶コーディネーター (EPNC) と協力してポリオ根絶活動に対する認識を深め寄付を呼びかけること、の3つが主な役割です。

昨年度は、コロナ蔓延の中、皆様にはロータリー活動が多く制限されました。さらに2月にはロシアによるウクライナ侵攻もあり、かつて私たちが経験したことのないような大きな出来事が起こってしまい、未だ継続中があります。この中にあり、ロータリー財団が4月30日までウクライナ専用としたロータリー災害救援基金への支援は1,500万ドルを超え、日本からも300万ドルを超える寄付が集まりました。本当にありがとうございました。このような緊急事態の中でも多くの支援活動が行われることは、やはりロータリアンの持つ5つの中核的価値観の賜物だと感激した次第です。ウクライナへの人道支援にはまだ余裕があります。ぜひ各地区で人道的支援のご検討をいただければと思います。

さて、今年度は佐藤 RI 理事の号令一下、10月24日の「世界ポリオデー」に向けて各地区で様々な趣向を凝らしたイベントが考えられています。この中で、やはり今までと少し違った動きが大きな潮流になろうとしています。それは、各地域でロータリーコーディネーターチーム、ロータリー公共イメージコーディネーターチーム、ロータリー財団地域コーディネーターチーム（ポリオ根絶コーディネーター、恒久基金/大口寄付アドバイザーを含む）が横の連絡を取り合って、担当の地区や地区内クラブを支援する動きが大きくなってきていることです。もとより、各コーディネーター、コーディネーター補佐の皆様は素晴らしい地域リーダーの方ばかりです。地域コーディネーターが一緒になって日本のロータリーをさらに大きく発展させていくことができれば嬉しい限りです。

最後に、昨年は第3地域の年次基金寄付額は前年比+23%でした。今年はさらに伸ばして参ります。また、残念ながら「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」が第3地域において達成できませんでした。今年は必ず達成できることをお約束して抱負といたします。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 269

2022年8月15日
発行

1. 各地で学友会総会が開催

新年度になり、各米山学友会では続々と総会が開催されています。

7月3日には、関西米山学友会が「YONEYAMA HARMONY～新しい未来への調和～」をテーマに学友会総会を開催し、203人が集まりました。3年ぶりに対面で開催された今総会では、学友会の活動報告に加え、新規奨学生を紹介。学友によるレクイエム音楽祭の演出では、世界平和を祈願する演奏、踊りを披露するなど、同学友会の総会は大盛況となりました。また、ウクライナ学友が在籍する教育財団への寄付が集められ、世界平和への想いとともにも贈られました。

今総会で任期満了となった関西会長（大阪うつぼRC）は、「関西米山学友会のスローガンは、私が会長として務めさせていただいた2年間の、「日本から世界へ、世界から日本へ」から、「YONEYAMA HARMONY」に変わります。過去・現在・未来をつなぐ世代の調和、そして、人と人との調和を通じて米山の強化・拡張

を図ることで、より積極的な活動につながることを期待しております。多くの変化を迎える意義深い時間を、多くの米山ファミリーとご一緒できて、とても嬉しかったです。私たちが笑顔で過ごした時間は、これからの1年間の活動に大きな力になってくれると思います」と、述べました。



2. 2023 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で569校（前年度564校）。指定校からの被推薦者数は1,901人（同1,804人）で、この中から新規奨学生約620人が選ばれます。今回、初指定校は9校。また、6地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、13

地区（同13地区）33校（同33校）となりました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月4日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

3. 寄付金速報 — 2022-23年度の始まりは？ —

2022-23年度の寄付金スタートは2億1,100万円、前年度と比べ約150万円の増加（普通寄付金:1.5%増、特別寄付金:1.3%減）となりました。新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた2019年度以降、初めて7月の寄付額で前年度を上回り、久しぶりに前年度増の数字で新年

度のスタートを切ることができました。感染症の収束がなかなか見えない昨今ですが、皆様の変わらぬご支援に厚く御礼申し上げます。今年度も、引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

4. ベトナム学友グループが2年ぶりに活動を再開

6月11日、背中に「超我の奉仕」の文字を刻むシャツを着て、ベトナム・ホーチミンの学友グループが2年ぶりに活動を再開しました。当日は7人のメンバーと、その家族を含めた総勢9人が参加し、4カ所の児童養護施設を訪問しました。



寄付したのは、インスタント麺13箱、お米75kg、調味料などの生活必需品、おむつ、牛乳、洗濯用洗剤、食器用洗剤、炊飯器(大:1個、小:2個)、フライパン、扇風機、アイロンなどの家庭用品、小学1年生用の教科書、子供用の衣類などです。また、パソコンとプリンターが今後寄付される予定とのことです。

参加したメンバーは、「久しぶりに施設に訪問して、子どもたちに会えました。子どもたちと言っても、小学生から大学生まで、年齢の幅は様々です。会うのは2年ぶりでしたが、今でも子どもたちの、幼い頃の可愛い表情をよく覚えていています。今回、私たちは愛情とエネルギー全開で、子供たちの身の回りのすべてをお世話させていただきました。私たちにとって大切な一日のために、入念に準備してくださった施設の皆さまに心から感謝します」と、述べました。

5. 「再会 in 関東」開催まで1年

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」がいよいよ2023年8月に開催されます。この大会は2年に1回、米山学友会の主催で行われるもので、今回も世界の米山学友が集い、ロータリアンとの絆を深める企画が盛りだくさん！来年8月に向けて、日本国内の各学友会による「チャリティー奉仕リレー」も始まります。ロータリアンを対象とする募集企画もありますので、ぜひ参加をご検討ください。

日程：2023年8月5日(土)・6日(日)

8/5

10:00～ポスター発表(学友会活動・ビジネス紹介)

14:30～17:30 本大会(百人合唱祭など)

18:30～21:30 晩餐会

8/6

9:00～18:00 奉仕活動&文化体験

会場(5日).....つくば国際会議場、ホテルグランド東雲

登録料.....ロータリアン(ロータリアン学友含む)とご家族 ¥15,000、

米山学友・奨学生 ¥7,000、そのほか学友のご家族、友人など ¥7,000

登録方法.....来年から正式に登録用紙を配信する予定です

問い合わせ先.....世界米山学友による「再会 in 関東」実行委員会(yoneyamaworld@gmail.com)

※上記プログラム中の「ポスター発表(ビジネス or ご自身の活動紹介)」と「百人合唱祭(できれば元奨学生を誘ってペア参加)」はロータリアンからもご参加を募る予定です

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 野津(のづ)・長尾(ながお)



ポリオを根絶する5つの理由

- 1 生活の向上**
ポリオ根絶活動のおかげで、身体まひにならずにすんだ人の数は1900万人、命を落とすことのなかった人の数は150万人に上ります。
- 2 未来への投資**
ポリオが根絶されなければ、今後10年間に、毎年20万人の子どもが身体まひになる可能性があります。ポリオの根絶は、すべての子どものためにより健康な世界をつくることです。
- 3 子どもの健康を向上**
ポリオ根絶のサーベイランス（監視）や予防接種活動では、ビタミン欠乏やはしかといったほかの健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できます。
- 4 医療費の削減**
世界的なポリオ根絶活動により、1988年以來すでに、270億ドルの医療費が節約されています。2050年までに、さらに140億ドルが節約されると予測されています。
- 5 歴史をつくる**
ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。



1980年代末の時点で、毎年35万人の子どもがポリオによる身体まひの犠牲になっていました。ロータリーとパートナー団体は今日までに、ポリオの症例を99.9パーセント減少させることに成功しています。しかし、ポリオウイルスを完全になくすには、以下の活動のための追加資金が必要となります。

予防接種
毎年4人以上の子どもへのポリオ予防接種

サーベイランスの向上
ポリオウイルスを人または環境から検知するためのサーベイランスシステムの向上

保健従事者の雇用
すべての子どもに予防接種を行うために戸別訪問を行う15万人以上の保健従事者の雇用

endpolio.org/jaからご支援を

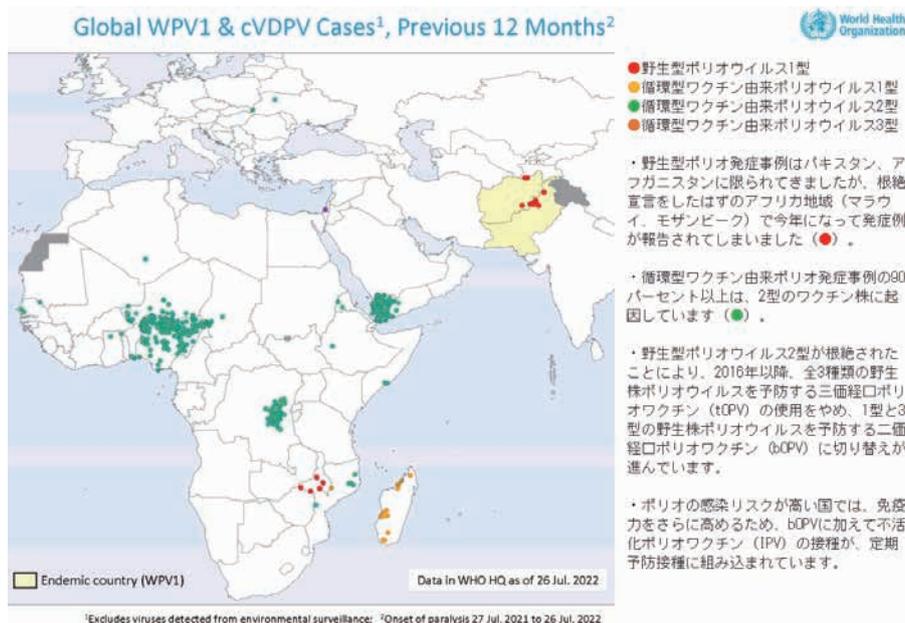


10月24日は、国際ポリオデーです。

ポリオ根絶まであと少し。国際ロータリー2550地区の全クラブで、ポリオに関するイベント、卓話などを実施し、理解を深めましょう！

PDFデータダウンロード

このページをまとめた画像データをダウンロードできます。



<活動例>

- ◆ 地域のイベントにて、ポリオ根絶ブースを設置する。
- ◆ 市民へチラシ配布
- ◆ 会員の勉強会・募金



活動のための資料はこちら



ロータリー財団 認証者 2022.4～6



Paul Harris Fellow

ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ
金子 大敬	馬頭小川
高橋 美江	益子
福地 博行	小山北
安藤 知彦	佐野
横山 庸	宇都宮90
木幡 英俊	宇都宮西
溝邊 岳秋	宇都宮西

Multiple Paul Harris Fellow

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ	回数
板橋 信行	足利東	2回
近藤 隆彦	足利西	4回
塩澤 雄二	馬頭小川	1回
木村 透	馬頭小川	3回
高野 徹也	馬頭小川	4回
櫻井 武彦	鹿沼	3回
齋藤 孝之	葛生	2回
横塚 信也	葛生	7回
酒井 淳	益子	1回
高松 勝	大田原中央	3回
栗原 勉	小山南	5回
菊澤 洋之	佐野	1回
岡安 徹雄	佐野	1回
河邊 勝実	佐野	6回
押山 利男	栃木西	4回
鈴木 章央	宇都宮90	2回
比企 洋子	宇都宮90	5回
倉井 章	宇都宮東	5回
中野 智之	宇都宮南	2回
藤井 康夫	宇都宮南	3回
鈴木 徳郎	宇都宮西	1回
黒須 祐作	宇都宮西	3回
橋本 泉	宇都宮陽北	1回
長 正英	宇都宮陽北	2回

Benefactor ベネファクター

氏名	クラブ
羅田 秀頭	足利
広瀬 紀夫	真岡

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます



米山功労者 2022.4～2022.6



氏名	クラブ	回数
柏田 健介	宇都宮90	1回
柴原 幸一	宇都宮90	1回
横山 庸	宇都宮90	1回
相田 朝美	宇都宮90	1回
高田 光子	宇都宮90	2回
山本 努	宇都宮90	2回
卯木 伸男	宇都宮90	3回
安藤 英夫	宇都宮90	4回
小林 恒夫	宇都宮90	4回
川名 悟	宇都宮90	7回
湯澤 敦史	宇都宮さつき	1回
武田 文夫	宇都宮さつき	1回
大庭 千鶴	宇都宮さつき	1回
亀井 光一郎	宇都宮さつき	1回
児玉 博利	宇都宮さつき	1回
石川 均	宇都宮さつき	1回
内仲 祐介	宇都宮さつき	1回
寺田 美智子	宇都宮陽北	2回
三井 良春	宇都宮陽北	3回
荒木 貞雄	宇都宮陽北	5回
大西 広明	黒羽	4回
手束 公一	小山北	1回
田島 良久	馬頭小川	1回
塩澤 雄二	馬頭小川	1回

氏名	クラブ	回数
黒須 祐作	宇都宮西	1回
岩原 正樹	宇都宮西	2回
木内 裕祐	宇都宮西	7回
稲木 義友	宇都宮西	11回
磯野 信次郎	佐野	21回
松村 一夫	佐野	2回
綿引 寿男	佐野	2回
篠崎 博司	佐野	39回
安藤 知彦	佐野	5回
河邊 勝実	佐野	7回
滝田 有彦	宇都宮西	3回
角田 充由	宇都宮南	1回
高橋 美江	益子	1回
酒井 淳	益子	2回
菊地 重徳	真岡西	1回
松山 国夫	真岡西	1回
山本 正	真岡西	1回
秋山 康雄	真岡西	2回
廣川 正人	真岡西	3回
伊藤 悟	西那須野	1回
澤田 次男	西那須野	7回
狐塚 育男	栃木西	8回



米山功労クラブ 2022.4～2022.6



クラブ	回数
宇都宮90	36回
宇都宮さつき	2回
小山北	16回
馬頭小川	7回
宇都宮	50回
宇都宮西	48回
西那須野	44回

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

2025-26 年度 ガバナー候補者推薦について

ガバナー 佐貴 直通
ガバナー指名委員会委員長 森本 敬三

国際ロータリー細則第 12 条ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで 2025-26 年度ガバナー候補者を推薦することができます。2022 年 9 月 30 日までにガバナー指名委員会委員長宛、文書にて（書式任意）提出して下さい。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第 16 条 16.010 ガバナーノミニーの資格条件及び 16.020 ガバナーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニーの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第 12 条 12.030.4 における規定に基づき地区内クラブによって推薦された氏名に限定されるものではありません。ご了承ください。

10 新入会員・物故会員

新入会員紹介



はら けんいちろう

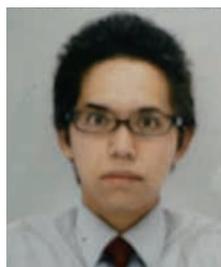
原 賢一郎

宇都宮東

2022年6月21日入会

アズマ原総業(株)
代表取締役

よろしくお願いいたします。



はしもと たくや

橋本拓也

下野上三川

2022年7月1日入会

司法書士法人 JINS OFFICE

よろしくお願いいたします。



写真撮影が趣味の佐貴ガバナー
季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。

Naomichi Sanuki

栃木 9月

